

公印省略

4 福学保第 7 0 号
令和 5 年 1 月 5 日

公益社団法人福岡県薬剤師会会長 殿

福岡県学校保健会
会長 蓮澤 浩明

令和 4 年度学校における飲酒防止教育支援研修会（オンデマンド開催）
開催要項について

標記研修会について、別添のとおり公益財団法人日本学校保健会会長から案内がありましたのでお知らせします。

なお、研修会の参加申し込みについては、日本学校保健会が運営する学校保健ポータルサイト（<https://www.gakkohoken.jp/news/archives/101>）から直接行ってください。

日学保第248号
令和4年12月26日

各都道府県・指定都市学校保健（連合）会 会長 殿
各都道府県・指定都市教育委員会 教育長 殿

公益財団法人日本学校保健会
会 長 中 川 俊 男
(公 印 省 略)

令和4年度学校における飲酒防止教育支援研修会（オンデマンド開催）
開催要項の送付について（依頼）

時下 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本会事業の推進に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本会では別紙要項の通り標記研修会を開催いたします。ぜひこの機会に多数の方々に受講いただきたく、貴管内の学校をはじめ関係機関への周知等ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、本研修会は事前申し込み制です。学校保健ポータルサイトより参加申し込み後、期間内何度でも受講いただけます。

記

1. 日 時 令和4年12月26日（月）～令和5年3月10日（金）まで
2. 受講方法 ポータルサイト（<https://www.gakkohoken.jp/news/archives/101>）より申込

以上

《本件照会先》

公益財団法人日本学校保健会事務局 高橋

TEL：03-3501-0968/FAX：03-3592-3898

E-mail：takahashi@hokenkai.or.jp

公益財団法人 日本学校保健会事業

学校における飲酒防止教育支援研修会（オンデマンド開催） 実施要項

20歳未満の飲酒は、喫煙と同様に法律で禁じられていますが、児童生徒の飲酒が禁止されていることに対する認識は喫煙よりも甘く、中高生の飲酒経験の割合は減少傾向にあるものの喫煙よりも高いのが現状です。また、(公財)日本学校保健会の調査では、20～24歳の成人の飲酒経験率は86.5%と高く、そのうちイッキ飲みの経験をしたことがある人が30.9%いました。20歳未満が成人と比較してアルコールによる悪影響を受けやすいことから、未然防止に係る教育及び啓発が必要であることは言うまでもありませんが、20歳になってからの飲酒の問題点についても認識しておく必要があります。学校における飲酒防止教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てることが大切であり、医学的な知見に基づく健康への影響に対する理解を促すと共に児童生徒等に訴求効果の高い実践が求められます。

本研修会は今後の飲酒防止教育の在り方等について教育関係者や医療関係者等に情報発信していくことを目的としています。

主催：公益財団法人日本学校保健会

協賛：ペルノ・リカール・ジャパン株式会社

1 日 時：令和4年12月～令和5年3月10日（金）

2 形 式：オンデマンド配信 (<https://www.gakkohoken.jp/news/archives/101> より申込)

3 参加対象：学校教育関係者等（管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者）

4 参加費：無料（事前にお申込みください）

5 内 容（敬称略）各講演30分程度 * (2)、(3)、(5)、(6)は令和3年度に収録のため、一部未成年と表現している箇所があります。

(1) 趣旨説明 鈴木 貴晃（文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官）

(2) 講演1「未成年の飲酒の危険性と女性の飲酒のリスク」

松下 幸生（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 院長）

(3) 講演2「若者のイッキ飲みに関する実態とその対策」

北垣 邦彦（東京薬科大学薬学部 教授）

(4) 講演3「飲酒等危険行動防止のためのライフスキルの育成」

西岡 伸紀（兵庫教育大学大学院 教授）

(5) 実践1「健康と飲酒」（中学校保健体育分野 実践）

桐原 洋（山梨県河口湖南中学校組合立河口湖南中学校 教頭）

(6) 実践2「小学校における未成年飲酒防止の取組」

中村まさえ（茨城県利根町立文小学校 養護教諭）

(7) 実践3-1 高等学校における20歳未満飲酒防止教育の取組

青山 茉衣（明照学園 樹徳高等学校 養護教諭）

(8) 実践3-2 特別活動における喫煙、飲酒、薬物乱用防止の取組（高等学校での実践）

長谷川 弘和（宮城県仙台向山高等学校 教諭）

令和4年度20歳未満飲酒防止啓発ポスター「キャッチコピー」募集要項 (再募集)

公益財団法人日本学校保健会

日本学校保健会では全国の学校へ配付する「20歳未満飲酒防止啓発ポスター」に添えるキャッチコピーを募集します。

- 1.テーマ：20歳未満飲酒防止
- 2.ポスター起用：スキー モーグル 川村あんり選手（18歳）
- 3.募集対象：全国の中学校・中等教育学校・高等学校の生徒保健部または保健委員会
- 4.応募点数：1校につき3点まで（保健部・保健委員会の生徒たちで話し合っ
た作品をご応募ください）
- 5.応募方法
 - (1) 日本学校保健会ウェブサイト「学校保健ポータルサイト」より応募ください
 - (2) 募集締切：令和5年1月13日（金）
- 6.その他
 - (1) 本会の「学校における飲酒防止教育支援委員会」にて選考します。
 - (2) 最優秀賞の作品は本年度の啓発ポスターに採用、全国の学校等へ配付します。
また、ポスターはウェブサイトでの公表等、本会の他の事業で使用する場合もあります。
 - (3) 入賞校には本会より賞品（図書カード）を贈呈します。
最優秀賞 1校 20,000円
優秀賞 1校 10,000円
佳作 1校 5,000円
 - (4) 採用作品を使用したポスターの著作権はすべて本会に帰属します。



参考：平成30年～令和3年度ポスター